

はいの年 #1  
はい、巡礼に行きます。  
ボー・スターン・ブレイディ

今日あなたがいる可能性のあるすべての場所の中で、あなたはここにいます。タイムライン上であなたが存在した可能性のあるすべての時間の中で、あなたはここにいます。ここがあなたがこれまでにいた唯一の場所ではないし、これがあなたがこれまでに生きてきた唯一の時間でもない - でも、この場所とこの瞬間が最も重要だ、なぜなら、起こったことは変えることはできないし、変えることはできないから先に進んで未来を修正してください。私たちは巡礼の旅をしている人々です。人生の日々を過ごし、迫り来るすべてのことに対処し、途中で他の旅人たちと交流し、与えられた日々を変えようと努めています。しかし今日、私たちはここにいます。時間は止められないから常に動いているけど、ここでも。(巡礼は長期戦です。)

新しい年の始まりにあたり、古い手紙を取り上げたいと思います。ほんの小さな手紙ですが、私は他のどの手紙よりもこの手紙が大好きです。なぜなら、その一文一つ一つに愛と力と知恵が溢れているように思えるからです。(コロサイ - 人口が多く裕福な都市で、羊毛貿易で有名。ライカス溪谷の3つの都市の中で最も小さい - ラオデキアから約19マイルにあり、パウロは両方の教会に手紙を書いています。教会はおそらくエパfrasによって設立されました。フィレモンもまた、コロサイは西暦60年代初頭に地震で破壊されました - パウロの手紙から約2年後。発掘される予定です。) コロサイ人へのパウロの手紙では、巡礼に対するパウロの心が筆から流れ出ているのが感じられます。彼は彼らに2つのことを理解してほしいと望んでいます。それは、イエスとは誰なのか、そして、イエスと彼らの世界にとって彼らは何者なのかということです。

そして重要なのは、彼らはイエスが誰であるかを知っているということです。彼らは彼の実際の生活に手が届く範囲で生きています。彼らは目撃者を知っているか、目撃者でした。彼らは彼の驚くべき物語をよく知っており、本当に感銘を受けています。つまり...ほとんどの人がそうなんじゃないでしょうか？イエスの生涯はあまりにも驚くべきものであるため、私の知り合いでその話を聞いて「まあ、それほど印象的ではない」と思った人はほとんどいません。イエスの本当の話を聞くほとんどの人は、自分が非常に偉大な人物であることを知っていますが、しばしば同じように偉大に見える他の人物、つまり釈迦や歴史上のモーセ、そしておそらく個人的に知っている数人の人物と並べて考えます。優れた自己犠牲的な人です。イエスを印象的であると見るのは簡単ですが、全能であるとは見ません。ここがコロッセオでパウロの聴衆を見つける場所です。彼らはイエスが偉大だったと信じていますが、他の宇宙的な力もポケットに持っており、彼らも同様だと考えています。偉大で、強力でもあり、神聖でもあります。パウロは彼らに、イエス・キリストの福音の唯一無二の、異論のないメッセージを再発見するよう励ますとともに、その発見が人生や世界の中でどのような変化を遂げるのかを理解できるように助けるために手紙を書きました。召された場所で与えられた日々。パウロは今日も私たちに手紙を書いていると思います。私たちに思い出してほしいのですが、あなたのために亡くなった人は他にいませんし、あなたのために戻ってくる人もいません。この

手紙の中心となる次の聖句を聞いてください (言葉遣いが手紙に似ているので、メッセージから読んでください)。

”しかし今では、御子はその肉のからだにより、その死をとおして、あなたがたを神と和解させ、あなたがたを聖なる、傷のない、責められるところのない者として、みまえに立たせて下さったのである。ただし、あなたがたは、ゆるぐことがなく、しっかりと信仰にふみとどまり、すでに聞いている福音の望みから移り行くことのないようにすべきである。この福音は、天の下にあるすべての造られたものに対して宣べ伝えられたものであって、それにこのパウロが奉仕しているのである。”

コロサイ人への手紙 1:22-23 口語訳

他にメッセージはありません。パウロは、コロサイ人への手紙を通して、私たちをこの真理に根付かせるよう努めています。彼は、イエスが私たちにとってどのような存在であり、私たちがイエスにとってどのような存在なのかを説明しています。

そこで、パウロの目的を理解した上で、この手紙の最初の数文に立ち返りたいと思います。導入。(導入部分を見落とさないように注意してください。導入部分は、何を伝えるかだけでなく、ライターが読んでほしい方法のトーンも設定します。)

”神の御旨によるキリスト・イエスの使徒パウロと兄弟テモテから、コロサイにいる、キリストにある聖徒たち、忠実な兄弟たちへ。わたしたちの父なる神から、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。”

コロサイ人への手紙 1:1-2 口語訳

ポールは愛を込めて出発します。彼は神の力と、彼らの世界で完全かつ自由に生きるために必要な修正のいくつかについて彼らに語ろうとしています。彼は神の愛から始めます。あなたに恵みと平安を。巡礼の旅人として、私たちが愛を持って先導するとき、私たちは大きな贈り物になります。旅の道端に種のように愛を蒔くとき。パウロはそうのように私たちを導いています。そのようにイエスは私たちを導いてくださいます。私たちもそうやって人生を歩むべきです。

ポールはこの冒頭で彼らに2つのラベル、つまり2つの異なる名前タグを付けていますが、それらは非常に重要です。読み方は少し異なりますが、これらは私たちの名札でもあります。彼はこう言います、「クリスチャンと熱心な信者の皆さんに挨拶します。」

キリストについて

コロッセに

これらの4つの言葉は、彼らが進んでいる旅を明確に示しています。

彼らはキリストのものです - 彼らはキリストの名を身に着けており、彼らはキリストの血によって買われており、この「一つのメッセージ」を購読しています - しかし彼らは同時にコロッセオに住んでいます - 彼らが生きている間毎日たくさんのメッセージが飛び交っています。

彼らはキリストのものであり、そこには慈悲が流れ、愛と希望が豊かに溢れています。しかし、彼らが住んでいるコロッセオでは、人々は意地悪で、暴力が日常的で、仕事は大変です。彼らは愛がすべての行動の燃料であるキリストのものですが、コロッセでは人生はゼロサムゲームであり、強いものだけが生き残ります。

そして私たちは同じ緊張の中で生きています。キリストのこと——キリストの善良さと真実が手の届く範囲にあるが、ホームレスや憎しみや心の痛みが私たちの街をさまようビーバートンやレイク・オスウィーゴ、タイガードやヒルズボロ——。私たちは神の喜びと世界の絶望の交差点に生きています。

私たちはキリストのものですが、ビーバートンにいます。私たちはキリストのものですが、ナイキのもので。キリストの出身ですが、サウスリッジ高校にいます。確かに、これは緊張ではありますが、驚くべき特権でもあります。Of と In の両方の人々にとって、それは私たちの大きな喜びです。

私たちが召された場所にキリストの実体をもたらす人になるためには、それが何を意味するのかを知らなければなりません。キリストから離れるとはどういう意味ですか？それは私が下した決断でしょうか、それとも私が祈った祈りでしょうか、それともルールや望ましい行動のリストでしょうか？

## 1. 私たちは神との間に平和を保っている人々です。

”神は、御旨によって、御子のうちにすべての満ちみちた徳を宿らせ、そして、その十字架の血によって平和をつくり、万物、すなわち、地にあるもの、天にあるものを、ことごとく、彼によってご自分と和解させて下さったのである。あなたがたも、かつては悪い行いをして神から離れ、心の中で神に敵対していた。”

コロサイ人への手紙 1:19-21 口語訳

”キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたが召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。”

コロサイ人への手紙 3:15 口語訳

これは、私たちが請求や診断、人間関係についての不安に直面しないということではありません。しかし、私たちは神との間で平和に暮らしており、たとえ本当に困難に見えるときでも、神の御霊によって互いに平和に暮らすためのリソースを与えていただいています。

## 2. 私たちは救いの賜物の中で生きています。

この手紙全体には、イエスを知り従う者として私たちに与えられる賜物が満ちています。それは救いをまるで贈り物の中の贈り物のように感じさせます - あなたはただ箱を開け続けて、巡礼中に何が手に入るかを発見し続けるだけです。

”そういうわけで、これらの事を耳にして以来、わたしたちも絶えずあなたがたのために祈り求めているのは、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力とをもって、神の御旨を深く知り、

主のみこころにかなった生活をして真に主を喜ばせ、あらゆる良いわざを行って実を結び、神を知る知識をいよいよ増し加えるに至ることである。更にまた祈るのは、あなたがたが、神の栄光の勢いにしたがって賜わるすべての力によって強くされ、何事も喜んで耐えかつ忍び、光のうちにある聖徒たちの特権にあずかるに足る者とならせて下さった父なる神に、感謝することである。神は、わたしたちをやみの力から救い出して、その愛する御子の支配下に移して下さった。わたしたちは、この御子によってあがない、すなわち、罪のゆるしを受けているのである。”

コロサイ人への手紙 1:9-14 口語訳

”このように、あなたがたは主キリスト・イエスを受けいれたのだから、彼にあって歩きなさい。”

コロサイ人への手紙 2:6 口語訳

”それは彼らが、心を励まされ、愛によって結び合わされ、豊かな理解力を十分に与えられ、神の奥義なるキリストを知るに至るためである。”

コロサイ人への手紙 2:2 口語訳

3. 私たちは世界に平和の道を築いています。

”だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい。互に忍びあい、もし互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帯である。キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。あなたがたが召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。”

コロサイ人への手紙 3:12-15 口語訳

(例: ベンドへ行ける - 誰かがここでこれらの小道を遮断した。誰かがここに道路を置いたので。誰かが最初に行ったので、今では私たちは何も考えずにこれらの道を通っています。) 彼らは、キリストの者として提供される人生を経験するにつれて、コロッセオで生きていくために必要な資源を受け取ります。壊れた街に助けと癒しをもたらすために。イエスに根ざし、イエスに根ざした彼らは、イエスの道が自分たちの道に組み込まれていることに気づき始めます - イエスに対して、お互いに対して、そして世界に対して。彼らは、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさ、忍耐といった新しい服を着ます。私たちはお互いに我慢しています。許します。。私たちは巡礼中の人々ですが、歩みながら構築を進めています。これらすべてが、私たちを、他の人が私たちの後に続いて進むための新しい道を切り開く人間にします。

世界の平和をどうやって築いていますか？私は朝の始まりにニュースをチェックしていましたが、それは一日のほとんどすぐに落胆を引き起こし、それはずっと私を追いかけてきました。そして、単なる落胆ではなく、怒りです。判定。時には憎しみすら言うこともありました。そして、この習慣は私が怒っている人には何の影響も与えていないことに気づきました - 彼らは私が怒っていることさえ知りませんでした - それが私を恐怖と不安と落胆に閉じ込め続けていたの

です。私にとっての新しいルールは、思いやり、優しさ、謙虚さ、優しさ、忍耐力を通してニュースを読むことができない場合は、ニュースを読まないということです。時には私たちは、キリストと私たちの世界に属することができる人になるために、自分の習慣を実質的に変える必要があります。なぜなら、私がキリストに属していると言うなら、それが私の世界に何の役に立つでしょうか？しかし、私が築いている道は怒りと憎しみと苦いものです。もし私がこの世の悲しみに向けて話している言葉が悲しみに重みを与えているとしたら、私はイエスに全く希望を持たない人々とどう違うのでしょうか？

キリストの民とは、神との間に平和を保っている人であり、救いに向かって生きている人であり、世界に平和の道を築いている人です。彼らが呼ばれる場所。彼らはパレードでお菓子を作るかのように福音の良いたとえを広めました。彼らは救いの喜びに満たされています。彼らは最終的な目的地を知っているという平安で満たされています。彼らは信仰が強められ、希望をもって耐え忍びます。

私たちはタイムライン上の自分の場所に呼び出された人々です。確かに。私たちはこの世界で特定の目的を達成するように召されています。しかし、私たちは何よりも神を知るように召されています。主の臨在の中に自分自身を根付かせることです。主の臨在の中で生きる練習をすること。これは私たちの義務というよりむしろ喜びです。

人間の主な目的は神の栄光を讃え、永遠に神を楽しむことです。 -ウェストミンスター・ショート

要理問答

そう、巡礼へ。はい、長期戦に向けて。平和への道を築くことに賛成です。そうです、ビーバートンではキリストのものであることです。

聖体拝領/応答: